

組合員各位

新型コロナウイルス感染拡大防止への学習塾の対応について 第60報

全国学習塾協同組合 理事長 森 貞孝

20日政府は新たに緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置を実施する県を追加、合わせて29都道府県に及ぶ大規模なものとなった。

全国で変異株による新型コロナウイルス感染症が爆発的に増加しており、各県からの要請に応えたもの。これで**緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が47都道府県中29都道府県に拡大**され、現在実施中のものを含めてすべて9月12日まで延長して実施されることになった。

緊急事態宣言を実施中の都府県

東京・神奈川・千葉・埼玉・大阪・沖縄

8月31日までを9月12日までに延長して実施

緊急事態宣言を新たに実施する府県

茨城・栃木・群馬・静岡・京都・兵庫・福岡

8月20日から9月12日まで

まん延防止等重点措置が実施されていた県で、そのまま延長される道県

北海道・石川・福島・愛知・滋賀・熊本

8月31日までを9月12日までに延長して実施

まん延防止等重点措置を新たに実施する県

宮城・山梨・富山・岐阜・三重・岡山・広島・香川・愛媛・鹿児島

8月20日から9月12日まで

現在の情勢

1. 新型コロナウイルスの感染力の強いデルタ株が感染を急拡大させている。
2. 連日数県から十数県ほどが過去最多の感染数を発表し続けている。18日は27府県が過去最多の感染数となった。また18日の全国の感染者合計も23917人と過去最多になった。
3. 全国では1日1万人を超える感染数が続いていたが、ここへ来て2万人を超え始めた。
4. 無症状・軽症者が出歩くことで、感染の拡大が止まらない。
5. 高齢者のワクチン接種は急速に進み、新規感染者は全体の5%以下に下がっている。
6. 9月中には国内のワクチン接種は40%を超し、収束に向かうと政府は考えている。
7. オリンピックの参加者に新たに変異種のラムダ株感染者が判明した。
8. 複数の県で病床がひっ迫し、入院できないまま死亡するケースが出始めた。
9. 重症化しないと軽く考えているケースで、どんどん広がって家庭内・職場・学校・学習塾などでクラスターが発生している。

世界の情勢

世界の新型コロナウイルス感染者数はジョンズ・ホプキンス大学の集計によれば8月19日現在感染者数2億917万人、依然として1日60万人前後増え続けている。死者439万人。感染力の強いデルタ株が世界中で猛威を振るっている。

日本の情勢

7月までで高齢者へのワクチン接種が一段落し、それ以外の年齢の方への接種が急拡大している。ワクチンの接種回数が先進国の中で一番遅れていたのが、6・7月2か月程度で、接種回数累計で上位に挙がってきた。それと同時に死者数が7月から急減し、1・2月頃の5分の一から10分の一程度に減少した。しかしわずかの間にデルタ株の感染数が爆発的に増え始めたため死亡者数も再度増え始めている。沖縄のうるま市内の精神科病院ではコロナのクラスターで173人が感染、64人が死亡している。また札幌市では人工透析患者でコロナ陽性者を調べたところ、118人の陽性者のうちで53.3%が死亡していることが判明した。

東京都の状況

- 1月7日 緊急事態宣言
- 2月7日 緊急事態宣言 3月7日まで延長 さらに3月21日まで延長
- 3月21日 解除
- 4月9日 まん延防止等重点措置を発出 5月11日まで
- 4月25日 そのまま緊急事態宣言に移行
- 5月11日 緊急事態宣言延長 5月31日まで
- 5月28日 緊急事態宣言延長 6月20日まで
- 6月21日 7月11日までまん延防止等重点措置
- 7月12日 まん延防止等重点措置から緊急事態宣言へ移行 8月22日まで
- 8月3日 緊急事態宣言を8月31日まで延長
- 8月18日 緊急事態宣言を9月12日まで延長

1月7日から9月12日まで249日のうちで、緊急事態宣言期間194日、まん延防止等重点措置期間37日、その他18日。殆ど8か月間自粛体制が続いている。

当組合の対応について

当組合の基本方針としては

- ① 組合員の塾からは感染者を出さない。
- ② 組合員の塾に給付金・補助金・助成金、融資等の紹介・指導をして塾経営のサポートをする。
- ③ 国の新しい施策が出たら速やかに周知徹底を行う。
- ④ 新型コロナウイルス関連の商品の斡旋を行う。
- ⑤ 組合員塾の経営相談に応じる。

こととしています。

困ったときは事務局にお電話ください。

組合が斡旋しているコロナ関連の商品

- ① マスク
- ② 消毒液
- ③ フェイスシールド
- ④ ポスター

※これまでの各種データについては、第58報をご参照ください。